

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.89)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業によりPCB廃棄物処理を継続しており、8月の処理実績は下表のとおりです。

右上の写真は8月19日(金)10時30分のコンデンサ24台の受入前に実施したKY(危険予知)ミーティングの様子です。このミーティングは受入時には必ず行っています。右下の写真はミーティング結果に従い、漏れ防止型金属容器で搬入されたコンデンサをフォークリフトで受け入れている様子です。

今後も安全第一でPCB廃棄物処理に取り組んでまいります。

23年8月の操業実績

種 別	受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類	540 台	464 台
トランス類	大 型	5 台
	小 型	3 台
	車 載 型	2 台
廃PCB等	5 個	5 個
保管容器	1 個	1 個

※ 受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



KYミーティングの様子



フォークリフトで荷受けする様子

## 2. PCB廃棄物の9月の受入計画について

23年9月の受入計画(予定)

種 別	受入台数	
コンデンサ類	518 台	
トランス類	大 型	4 台
	小 型	15 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等	5 個	
保管容器	2 個	

9月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から15台、愛知県内から246台、静岡県内から210台、三重県内から34台、岐阜県内から13台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から15台、静岡県内から3台、三重県内から1台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から5個、保管容器は、豊田市内から2個を受け入れる予定です。

## 3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

8月25日に静岡県藤枝市、8月30日に静岡県焼津市を対象に説明会を実施し、合わせて117社の事業者の方々にご出席いただきました。説明会では、平成24年2月～平成24年4月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めたい契約諸手続き、事業者間の積合せ(混載)運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



8/30静岡県焼津市説明会の様子

## 4. PCB含有廃油の蒸留エリア内漏洩事故について



1階蒸留エリア内のひび割れしたポリタンク

豊田事業所では、5月に行った定期点検時に計器洗浄に用いたPCB含有廃液を順次処理していくため、防液堤の中で一時的にポリタンクで保管しておりました。

8月30日の午前9時30分の巡回点検の際、1階蒸留エリアの床に液だまりができていたのを発見し、直ちに拭き取りによる回収作業を実施しました。なお、当該エリアは1日に3回の巡回点検を行っており、それ以前の点検では異常は確認されておりません。

原因は廃液を保管していたポリタンクにひび割れが発生し、そこから中の廃液が漏れたものです。

漏れた廃液の量は1リットル未満でPCB濃度は443 mg/kg(443ppm)、エリア外への漏出はありません。

エリア内の空気中のPCB濃度についても、常時監視装置で異常は認められていないため、外部への漏洩はなく、周辺環境への影響はないことを確認しました。

当事業所で保管している他のポリタンクについては、応急の措置としてシートで堰を造り、その中に保管することとしました。恒久対策については早急に検討し実施します。

## 5. 安全セミナー開催について

豊田施設では、1年かけてJESCO、運転会社全社員を対象として、豊田再生計画に基づく安全セミナー(設計思想等の再教育)を実施しています。

8月度は、第13回「溶剤再生工程」、第14回「洗浄技術 その1 攪拌洗浄」をテーマにして安全セミナーを開催しました。

「溶剤再生工程」では、PCB廃棄物を処理するにあたり多量の洗浄溶剤を使用していますが、その殆どを蒸留、再生して再使用している仕組みやその機能などについて学習しました。

また「洗浄技術 その1 攪拌洗浄」では、攪拌洗浄の役割や目的、12台の槽が設置されている根拠など、設計時の思想を学習しました。

今後も月2回のペースで安全セミナーを予定しています。



第14回安全セミナーの様子

## 6. 環境モニタリング調査等の実施について



周辺環境モニタリングの様子

豊田PCB廃棄物処理施設では、豊田市との協定に基づき、年4回環境モニタリング等の調査を実施して、その測定値を公表しています。

7月度は、周辺環境モニタリング(PCB、ダイオキシン類及びベンゼン測定)、排出モニタリング(各エリアからの排気測定、最終放流口における排水測定)、及び熱媒ボイラーのばい煙測定について調査しました。

豊田PCB廃棄物処理施設では事業活動による排気、排水等が環境に影響を及ぼさないよう、徹底した管理を実行し、汚染の防止に努めています。

### 問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>